

2020.08.24 物流ウィークリー

ウィズコロナの中であっても 事故ゼロを目指す

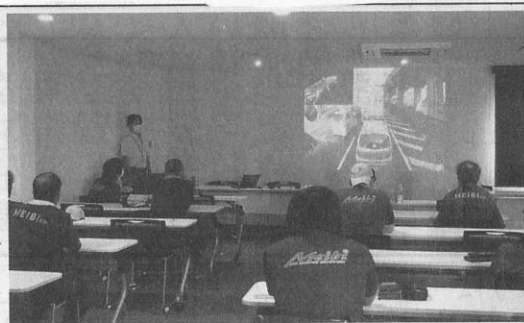
名備運輸 ながら運転防止研修

のグループに分かれ、それぞれ換気・マスク着用・消毒など感染症対策をとった上で行われた。

座学では交通心理士である渡邊貴幸氏（人と安全研究所）を講師として招いたセミナーが行われ、運転メカニズムや周辺視野・有効視野などについて解説。ながら運転が招いた事故事例や被害者家族の声も紹介し、運転をする上で大事なことは「大切な人を思う気持ち」と締めくくった。

また、実際のトラックを用いた構内での研修では2秒間目隠し状態で乗車し、その感覚を知る実験を行った。体験したスタッフからは「2秒は思ったより長い」など、ながら運転の怖さを痛感するコメントが続出した。

研修は「ながら運転」をテーマに、座学と実際のトラックを用いた研修の2つのカリキュラムで構成。スタッフは2つ



セミナーの様子

丸川社長は、「ウィズコロナの中であっても事故ゼロを目指す」と語り、交通安全への強い意志を示した。

（荻須登美）